

逗子市内を「おでかけ」 しやすくするプロジェクト

～逗子市地域公共交通活性化協議会だより～

逗子市では、「地域公共交通計画」策定に向け、令和7年度から地域の移動に関する課題を整理し、市民懇談会や協議会での意見交換を重ねながら検討を進めています。

これまでの市民懇談会では、地域の移動に関する困りごとや、将来に向けて必要な交通施策について、参加者の方から多くのご意見をいただきました。「福祉施設や買物施設と連携した移動手段の確保」や「スマホがない人にも使いやすい情報提供」など、市民の方々ならではの視点で、様々なアイデアが共有されました。

今回は3回目として、これまでの市民懇談会や協議会で検討してきた施策案について、「誰のために、どのように実現するのか」という視点から検討しました。

市民懇談会を通じて、地域で取り組むべき施策・事業について実現に向けた方針を探っていきます。



第3回「市民懇談会」を開催しました

- 日時：令和8年8月8日（土）
15:00～17:00
- 会場：逗子市役所第2・3会議室

<趣旨>

これまで検討してきた逗子市のより良い交通のあり方について、地域で取り組んでいきたい施策や事業を、どう実現につなげるかを考えます。

会の概要

- これまで実施した市民懇談会内容の振り返りを行ったのち、3つの班に分かれ、付箋を貼りながら、特に実現したい施策案について、どうすれば実現できるかを検討しました。
- 「シニアカー」や「乗合タクシーの導入」など、具体策が提案され、外出を支える移動手段の必要性を共有したほか、地域住民や事業者の協力による持続可能な仕組みづくりの重要性が示されました。



今回は、前回参加者や新規参加者を含め、計13名の方々にご参加いただきました。

挙げられた施策、理由・対象者、具体的な方法（一例）

主な施策	理由・対象者	具体的な方法
バス停・地域拠点までの移動手段の確保	坂道が多く、買物帰りの荷物を持ってバス停から自宅まで移動することが難しい高齢者。特にアーデンヒル、グリーンヒル、南ヶ丘団地や谷戸地域	バス停付近に小型電動カート（シニアカー）のポートを設置し、自宅との移動に利用できるシェアリングを導入
乗合タクシー・小型バスの導入	バスの減便やタクシー不足により、買物・通院が難しい方。アーデンヒル、アザリエ、グリーンヒルなどの高台住宅団地	東逗子駅や逗子駅、買物施設、病院等を結ぶ小型バス・乗合タクシーを運行。福祉車両や住民による送迎も活用
バスの乗継ぎ・運行ルートの改善	逗子駅以外の目的地へ行く際に乗継ぎが必要な方。東逗子駅周辺への買物や、市外の病院への通院に不便を感じる方	乗継ぎを考慮したダイヤ調整や乗継割引を導入。アザリエ循環、田浦線等のルート・行き先を見直し、南共済病院等への移動を改善
タクシーを利用しやすい仕組みづくり	平日昼間でもタクシーがつかまりにくく、近距離利用を断られることがある高齢者や通院者	昼間のタクシー料金割引や相乗りタクシーを導入し、タクシー事業者と連携して安価で効率的な移動手段を確保



▲ 貼りだされた意見



▲ 各グループからの報告



▲ 有識者からの講評

※ワークショップで挙げたご意見の一例です。ほかにもたくさんの内容を挙げていただきました。

有識者（協議会委員）からのコメント

加藤博和さん

（名古屋大学大学院環境学研究科教授）

これからは、移動手段を「誰に」「どこからどこまで」「誰が担うのか」まで具体的に考える必要があります。「5年後にできればよい」ではなく、できることは明日から始める姿勢が大切です。住民の皆さんが本当に必要だと考え、運営、資金、宣伝など、それぞれの形で協力できれば、実現の可能性は高まります。

清水弘子さん

（かながわ福祉移動サービスネットワーク理事長）

地域には、少しの見守りや手助けがあれば外出できる方がいます。住民だけで担うのではなく、タクシー事業者などと連携し、安く効率的に移動できる方法を考えることが大切です。今回出された意見を計画に積み上げ、暮らしやすい地域づくりにつなげてほしいと思います。



次回の予定

令和8年10月25日（日）

※日程が近づきましたら、詳細をHP・広報に掲載します。

次回は「パブリックコメントにかかる想定地域公共交通計画（素案）」について説明予定です。これまで参加されていない方も奮ってご参加ください。

お問い合わせ

逗子市環境都市課

※その他、様々な機会を通じて市民・移動者の皆さんと意見交換し、「おでかけ」しやすい逗子市実現に結び付けてまいります。

☎ 046-873-1111（代表） ✉ kankyo@city.zushi.lg.jp